

# 追悼の辞

## 敬愛する友・針靖人さんの

### 死を悼む

顧問 渡会 裕一

針 靖人さんは平成三十一年三月二十六日に逝去されました。享年七十五歳でした。

針さんは平成十九年に現会長の木村さんや常任理事の清水さん方と一緒に横浜歴研に入会されました。横歴では理事・常任理事・事務局長・副会長として活躍されました。

針さんと私はともに技術屋で、私が六歳年長でしたが、現役時代から仕事の関係が深く、針さんの明るく温和で人付き合いのよい性格は誰からも好かれておりました。

二人ともお酒が好きで、会社は毎週金曜日がノー残業デーだったので、定時近くなると、どちらからともなく「今日は行きませるか」の電話があり、まずは年配でちよつと粋な女将が経営する近く

で行きつけの店から始まり、続いて川崎の仲見世通りに繰り出し、そこで飲み続けるとともにカラオケに興じました。針さんはことのほかビールが大好きでした。

平成十九年に品川で行われた社友会の帰りに一緒にになり、相鉄線の大和で降りて、針さんの行きつけのスナックで二次会が始まり、どうせならお互い家内も呼ぼうではとあって四人で賑やかに過ごしました。ここで横浜歴研へ入会を勧め、針さんが入会するきっかけになったわけです。その後の針さんのご活躍は皆さんご承知のとおりです。加藤さんのあとを受けた事務局長としての名司会ぶりは今でも記憶に残るところです。

針さんは、薬は飲まない、医者にはかからない、健康診断も受け

ないという主義の方でした。そしてその生をまっとうされた方でした。

針さんはパソコンの操作にもとても長けていた人で、歴研の一泊ないし二泊のバス旅行の計画も、現地に下見に行かずとも机上でホテル・昼食を摂る食堂・神社仏閣などを調べ上げ、バスのルート・所要時間・駐車場の有無などを確認し、行程時間なども五分と違わなかったことで皆さんも感心しきりでした。

針さんをはじめ気の合った仲間と一緒に伊豆、蓼科、白河などに旅行に行きましたが、夕食後のカラオケがことの外上手で、河島英五の「酒と泪と男と女」「時代おくれ」などがお気に入りでしたが、すぎもとまさとの「吾亦紅」は絶品で、思わず涙を流している人がいたほどでした。

針さん、今頃天国で晴れてノンアルコールならぬアルコール入りのビールを飲んでにこにこ笑っていることでしょう。僕も遠からず行くからね。そしてまた二人で飲みながらカラオケをしよう。

台掌



針さんの近影



現役時代の針さん（右）と筆者  
1995.10 撮影